

# 肝炎等克服緊急対策研究事業

・国内最大の感染症  
・肝がんへと進展

「ウイルス性肝炎の治癒率上昇」  
「肝硬変・肝がんによる死亡者の減少」

■B・C型肝炎ウイルスの持続感染者  
→全国で320～380万人  
■肝硬変・肝がんによる死亡者数  
→全国で年間約4万3千人

## 戦略目標

◎B型肝炎の臨床的治癒率 約30%→40%  
◎C型肝炎難治例の根治率 約50%→70%  
◎非代償性肝硬変の5年生存率 約25%→50%(B型)  
約25%→35%(C型)  
◎進行肝がんの5年生存率 約25%→40%

## 肝炎研究7カ年戦略

肝疾患医療を  
発展させる基盤となる  
肝炎研究をより一層推進!

肝硬変に対する  
根治治療技術の開発  
肝線維化機序の解明からの  
治療法開発、ヒトiPS細胞等  
を利用した再生医療技術の  
開発を推進

肝炎キャリアの  
実態把握  
全国の肝炎ウイルス感染  
者の実態を解明し、検診・  
予防体制の評価を実施

## 標準的な肝炎治療法等の確立

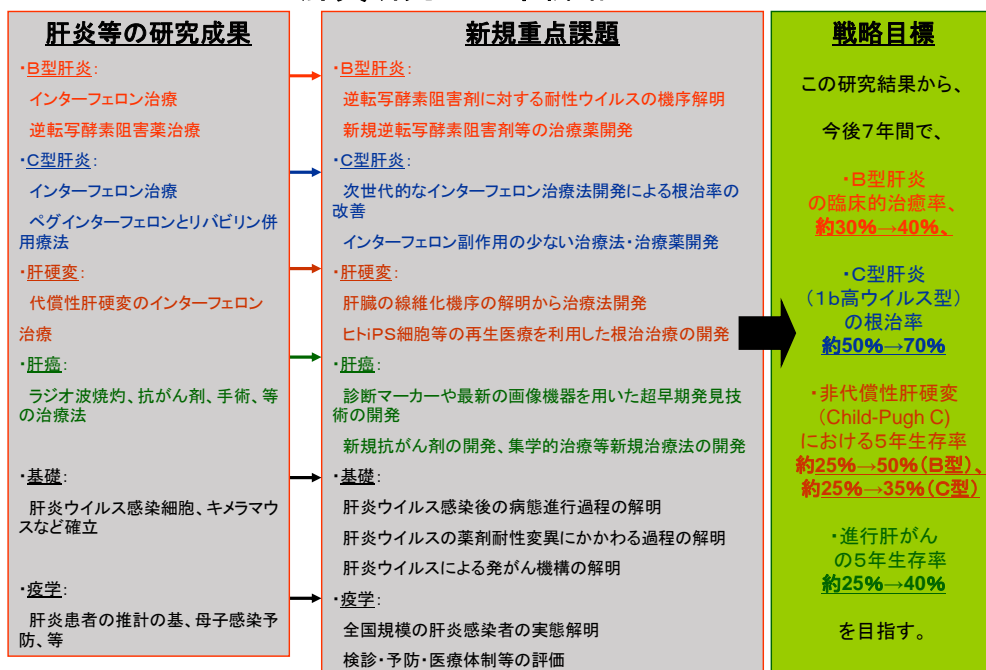
データマイニング手法を用いたウイルス側、宿  
主側、治療の網羅的解析による治療効果予測、  
治療アルゴリズムの作成を行い、またより治癒  
率が高く、副作用の少ない治療法・治療薬の開  
発の研究を通して、ガイドラインの作成を推進

肝疾患医療水準  
の均てん化を推進  
全国津々浦々で、最新  
の医療情報に基づく肝  
疾患診療を均等に享受  
できるよう全国規模の肝  
炎データベースの構  
築を推進し、肝炎研究7  
カ年戦略の達成に資す  
る研究を実施

## 革新的な肝がんの診断・治療技術の開発

肝がんの新規診断マーカーや最新の画像機器を用いた超早期発見  
技術を開発し、肝硬変からの発がん予防を念頭においた治療(がん  
ワクチン、免疫細胞導入などの免疫賦活療法等)の開発を推進

## 肝炎研究7カ年戦略



研究費の重点化、国立感染症研究所の体制整備、人材育成、国際交流